

STAX

SR-1 (LAMBDA)



SR-5



SR-40/50



SR-40

SR-50

このモデルの原形SR-1こそが世界で最初のコンデンサーヘッドフォンでした。以来20年間にわたって磨きあげられた音のバランスの良さの中に、特性やスペック競争を超えたオーディオスペースを実感していただけることでしょう。

SR-40

SR-50

コンデンサーイヤースピーカーはその誕生時点で既にオープンエアタイプだったわけですが、これはおそらくコンデンサー型初めての閉型。特にナマロク時にはコンデンサー型独特の分解能の良さといわゆる実力を発揮します。

SR-Σ

エレクトロスタティックイヤースピーカー ¥28,000
SR-Σの開発過程で得られたノウハウをフルに生かして完成。耳の形があるがまに生かす小判型の発音ユニットと耳を押さえないデザインが、ヘッドフォンの新世代の誕生を告げます。



SR-X/MK3

パノラミックサウンドイヤースピーカー ¥38,000
音の自然な響きを求めて生まれたその独特の形状が、それまでのヘッドフォンでは得られなかった音場空間を創造します。

SR-X/MK3



SR-X/MK3

エレクトロスタティックイヤースピーカー ¥23,000
極めてシビアな音質チェック用として限りない分解能と透明度を追求したモデル。音を見る高解像力接写レンズとも呼びたい製品です。

これほどの音がスピーカーで出せるだろうか？

——大変高価なヘッドフォンだが、それだけの価値があるのだろうか？ 私はYESと言わざるを得ない、と言うのもスピーカーではめったにない追真性（Realism）を提供してくれたからである。この追真性は他のヘッドフォンでは絶対と言って良い位、得られないものであると私は考える——。イギリスのオーディオ専門誌でスタックスのイヤースピーカーについて厳しいテストの結果、以上のようなレポートが掲載されました。これこそスタックスが「あえてヘッドフォンと呼ばずに「イヤースピーカー」と命名した意図であり、SR-1から出発し、SR-3、SR-5、SR-X、SR-X/MK3そしてSR-Σ、これらスタックス20年の歴史を彩る製品群の中に貫かれている基本理念です。

そして、このSRシリーズにSR-Σの空間表現とSR-X/MK3の分解能をあわせもってあたかも音楽がいまその一瞬一瞬にはじめて生まれ出るような新しい音のイヤースピーカーが誕生しました。SR-Λ(LAMBDA)です。

これほどの音、スピーカーで出せるでしょうか？

SRA-12S

プリアンプ（イヤースピーカー用A級パワーアンプ内蔵） ¥72,000



オールFET・DCアンプ構成のプリアンプは特にイヤースピーカーを念頭においたクオリティ高い設計となっています。イヤースピーカー用として設計されたので音の純度を汚すトーンコントロール等の回路がないことが逆にメリットとなる高透明度プリアンプです。

SRM-1

スタックスイヤースピーカー専用ドライバユニット ¥35,000



スタックスイヤースピーカーを理想的に駆動するトランスレスダイレクトドライバユニットです。プッシュプル型電圧を搭載した初段FETによるDC構成です。

SRD-X

イヤースピーカー用アダプター ¥14,000



イヤースピーカーをプリアンプやステレオラジカセ、テープレコーダー等にあるヘッドフォンジャックから直ちにコンデンサーヘッドフォンの高音質を得ることの出来るアダプターです。メタルケース時代に大威力を発揮して他では得ることの出来ないテープの音を楽しむことが出来ます。交直両用型ですのでイヤースピーカーが壊れるようにもなりません。

SRD-7

イヤースピーカー用アダプター ¥9,000



SRD-6

イヤースピーカー用アダプター ¥6,000



パワーアンプがプリアンプの出力端子とスピーカーシステムとの間に接続してイヤースピーカーが楽しめるマッティングトランス使用のアダプター。イヤースピーカーとスピーカーシステムを同時に切り換えられるスイッチが備わっています。

スタックス工業株式会社

〒171 東京都豊島区雑司1-25-5 Tel.03-981-7227